

認知症がある方の ありとあらゆる『行動』に 微塵もイラッとしなくなる方法 No.004

【収集癖】

他人のものをどんどん集めて自分のものにしちゃうやつです。
ポケットや部屋の引き出しの中は、いつも集めたものでいっぱい。
「返して!」と言うと「こりゃあたしのだ!」とカンカンに怒ります。

①認知

お、紙が落ちてる。あ、鉛筆だ。おしぼりもある。やや、あれは何かの鍵だ。

②思考

いいなあ。ほしいなあ。もらっちゃおう。これはわたしのだ。

③行動

集める。

①認知で、ものを見る力は正常です。ですが、②思考で、それが誰のものなのかあまり考えません。
所有物の境界線が曖昧になってます。他人のもの／自分のものという区別がなくなっているの、
ほしければ自分のものとして認知されます。だから③行動で集めたい放題です。

一度集めたら完全に自分のものになりますから、あなたが「返して!」と言えはすっごく怒ります。
だって、それは私ががんばって集めてきた、正真正銘わたしのものなんですから。

対処法としては、とりあえず、説得はやめましょう。あなたの愛車に対して他人が突然「それは俺のだ!」と言ってるようなものです。
それが許されるのはジャイアンくらいです。あなたは認知症の方にとって、ジャイアンのような存在になってほしくはない。

一番妥当なのが、こっそり回収しちゃうことです。認知症の方が気付かぬうちに必要なものを持ち主に返してあげましょう。
一度にたくさん回収しちゃうためです。不審に思われますから。あと、減った分は何かしらカサ増しすると親切です。

収集の方はものが一杯あると安心しやすいですからね。減らすより増やしましょう。
ちなみに、タンスを片付けるとかポケットの入口を縫い付けるなんてのは完全に逆効果です。
ポッケパンパンが、その方の豊かさなんです。

【異食】

なんでもかんでも口に入れて食べちゃうやつです。

ティッシュも石鹸もエプロンもゴム手袋もご飯も。

あなたが「それは食べちゃダメ!」と言っても無視してひたすら食べ続けます。

①認知

おいしそうなのがある。食べられるものだ。

②思考

お腹がすいた。食べよう。

③行動

食べる。

①認知の段階で、口に入りそうなものはおいしい食べ物に見えてます。ほくらから見れば明らかに食べられない石ころとかも、
おいしそうなお饅頭と化しています。あとは簡単。②思考で食べたいと考えれば、③行動で食べるだけです。

あなたが「それは食べちゃダメ!」と言ってもムダです。明らかに食べられるものに見えてますから。
取り上げようとすれば怒ったり、「なんで?」って顔されたり、「ふーん」って無視されます。
あなたがおにぎりをかじろうとしたら、エプロンをつけた若い人に「それ石ころだよ! お腹壊しちゃうよ!」と説得されてるようなもんです。
なんだこいつ? なに言ってるの? こんなに美味しそうなおにぎりなのに…バクリ。ほら、食べられるじゃん。そんな感じです。

対処法としては、とにかく口に入りそうなもの、食べて危険なものは片っ端から片付けましょう。すっごく簡素な部屋にします。
ついでにフロアも綺麗にします。何もなさすぎて迷惑をこうむる方もいるかもしれませんが、徹底的にやります。

だって、異食は命にかかわりますからね。前に読んだ新聞で、ある施設で亡くなったお年寄りの胃からゴム手袋が何十枚も出てきた
って話がありました。本当に、二度と起こしちゃならん事件だなんて思います。片づけるだけで異食には十分対処できます。
幻覚が見えてるわけじゃないので、食べられそうなものを置かなければいいだけのお話です。
食へのエネルギーは人一倍あるわけですからね。それって、素敵なことじゃないですか? →No.005に続く